

- む ずかしいことも、
- む き合う、
- む くぎ太一。



広島市議会議員 **むくぎ 太一**

新聞

- 01 コラム 8・6平和記念式典の騒音問題 アンケート結果と広島市の動向
- 02 決算特別委員会 第2分科会(文教・厚生関係)での質疑 「小学校の適正規模について」
- 03 市議としての個別の取組みについて 「通学路問題について」 「市議会ホームページの運用改善を提案」
- 04 Q&A



平和記念式典に関するアンケート調査等の結果報告書

アンケートは、式典参列者1098人が回答(回答率36.7%)。質問は、
①「式典中、拡声器からの音が聞こえたか」
②「式典中の音をどう受け止めたか(式典への影響はあるか)」
③「式典と厳粛な環境の関係について(厳粛が必要か)」など10項目。



元新聞記者の視点を活かしたコラムです。広島市議会議員として携った公務から課題等をピックアップ。地域を考える材料にしたいだけだと思います。

8・6平和記念式典の騒音問題 アンケート結果と広島市の動向

8割以上が望む静かな式典を騒音規制条例で実現しよう

8月6日の平和記念式典におけるデモ団体による騒音問題で、広島市は昨年の式典で実施したアンケートの結果を市議会に提出しました。

アンケートは、式典参列者1098人が回答(回答率36.7%)。質問は、

①「式典中、拡声器からの音が聞こえたか」

②「式典中の音をどう受け止めたか(式典への影響はあるか)」

③「式典と厳粛な環境の関係について(厳粛が必要か)」など10項目。

アンケート結果のポイントは数点あります。まず、**③「式典と厳粛な環境の関係について」**で、全体の71.0%(779人)が「式典全体を通じて厳粛な環境が必要」と回答したことです。「一部の時間帯のみ厳粛な環境が必要」「(15.8%、174人)と合わせると、86.8%(953人)が式典に静謐な環境が必要だと考えています。私は、式典は犠牲者の方々の悼む場だと主張してきましたが、アンケート結果は、これを裏付けています。

さらに、**②「式典中の音をどう受け止めたか」**では、拡声器からの音が聞こえた人(853人)のうち、58.9%(502人)が「式典への悪影響がある」と回答しており、騒音の悪質性を深刻に捉えています。そのうち、52.0%(261人)が「今後、音量を規制する措置(例えば条例制定)を講ずるべきだ」としています。これらの結果は、デモ団体の騒音に苦々しい思いをしてきた被爆者やご遺族、参列者らが静謐な追悼の場を強く求めている証です。

また、広島市は平和記念公園内の5か所で拡声器の音量を測定しました。デモ中、最大で106デシベルを計測、広島県の「拡声器による騒音の規制に関する条例」で規制対象となる音量(85デシベル)を超えました。デモのルート周辺にはマンションや企業があります。デモ団体は、式典の静謐な



平和記念公園に静かな8・6を取り戻すために

環境を壊すだけでなく、平和記念公園の近隣住民らの住環境も悪化させていることも認識すべきです。

アンケート結果を受け、広島市は昨年10月、式典中に静かにするようデモ団体に要請しました。要請が受け入れられない場合、今年の2月定例会に条例案を提案することを視野に入れていきます。皆様、静かな式典を取り戻すため、「む」に注視ください。



Q&A

広島市政に関連する質問にむくぎ太一がお答えします。

今回のテーマは「**小学校の適正規模**」についてです。



これらの小学校はおおむね1校あたり1000人を超える規模で、1学年5~6クラスは当たり前となっています。児童数の増加に伴い、教職員も増えることで職員室が手狭になっていることも見逃せません。

Q.1 2019年度の児童数が多い上位5校は?

- ①宇品(南区) ②牛田(東区)
- ③伴(安佐南区) ④川内(安佐南区)
- ⑤みどり坂(安芸区)

Q.2 小規模校と大規模校では、どういう面で教育水準・環境のアンバランスが現れやすいか?

広島市内には、全校生徒が十数人といった小規模校があります。このような学校では、団体スポーツやグループ学習などが行にくいといった難しさがあります。一方、大規模校と比べて教諭1人当たりの児童数が少なく、目が行き届きやすいといった側面もあります。ただ、公立学校ですので、このような差異は歓迎されることではないと思います。

Q.3 教室不足の算定方法は?

未就学児に関しては4月30日現在の住民基本台帳、児童・生徒数に関しては5月1日現在の学校基本調査における子どもたちの人数をベースに、「入学率」や「進行率」(転出・転入、進学)の要因を加味した、学年が進むことに伴う増減率などを算出し、現在の当該学年の児童・生徒数に当てはめていきます。宅地開発等はあくまで、市側が把握しているものですので、不確定要因となりやすく、開発が進む学区では児童・生徒数の将来推計が不安定になりやすい傾向があります。

Q.4 仮設教室の考え方は?

児童・生徒数の推計により、仮設教室(プレハブ校舎)の借り上げ期間が5年以内であれば、新たな校舎を増築するコスト等を考慮すると、原則的にはプレハブ校舎での対応となります。



Q.5 小学校で隣接校、近接校への通学を緩和できないのか

法律上問題ありません。中学校のケースでは、祇園中での生徒数増加への対応策として、近隣中学への受け入れ人数を柔軟にすることが検討されています。隣接校のほうが近い児童もいますし、様々な理由で隣接校を希望するケースもありえるため、小学校でも柔軟に対応することで、予算をかけず迅速に教室不足へ対応しやすくなるとみられます。



むくぎ 太一事務所

〒731-0138 広島市安佐南区祇園1丁目4-5
 TEL 082-846-5450 / FAX 082-846-5451
 URL: <http://www.taici.jp>



この市政報告は、市政改革ネットワークの承認を得て発行しています。



JR安芸長束駅前近の危険な通学路

児童・生徒の教育環境は校舎やグラウンドといった学校内のことに限られませんが、市議として、通学時の安全性を確保することは、非常に重要なテーマです。安佐南区でも道路が狭く入り組んでいる地区が多くみられます。例えば、安佐南区祇園のJR下祇園駅や「イオンモール広島祇園」の近くを通る、車線のない公道です。イオンモールの進出やマンション建設も相まって、人口、交通量ともに増え、「通学路」の安全性確保が喫緊の課題となっています。おおむね、手順としては、地域一体となって行政機関に要望し、その上で物事を進めていきます。課題解決の難しさは、横断歩道の間隔の制限等といった法令上のハードルとともに、「地域」コミュニティの低下も影響していることがあります。つまり、「地域一体」というところが行政を動かす

「通学路問題について」

市議としての個別の取組みについて

また、JR安芸長束駅前の公道も通勤・通学時間帯の交通量が半端なく、長束小に通う子どもたちや広島文化学園大の学生さんの安全性確保が求められています。不測の事態が起こるからでは意味がありません。地域の方々と協力し取り組んで参ります。



市議会ホームページの運用改善を提案

「議会日程」の一覧性を向上

私は現在、広報委員会にも所属しています。同委員会では、「市議会だより」の編集や市議会ホームページの運用等、市議会の活動を多くの市民の方々に知っていただく活動を行っています。その一環で、このたび、市議会ホームページに関する提案をしました。具体的には、「議会の日程」の一覧性の向上です。ホームページには「議会日程」という項目があり、開会中の本会議や各委員会の予定等を掲載しています。これまで、議会の各日程が終わると、数日後にはその日程が消去される運用となっていました。一般質問などで

日付(曜日)	開会時刻	会議名	場所	議題
12月3日(火曜日)	午前10時	本会議	4階議場	市長定例会
12月4日(水曜日)	午前10時	本会議	4階議場	一般質問
12月9日(月曜日)	午前10時	本会議	4階議場	一般質問
12月10日(火曜日)	午前10時	本会議	4階議場	一般質問、質疑
12月11日(水曜日)	午前10時	議決上下水道委員会 5階特別委員会 議決委員会	4階特別委員会室	付託議案の報告等

広島市議会ホームページより

市議会ホームページ(<http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/index.html>)
「議会日程」(<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/gikai/contents/1268890092009/index.html>)

防災プッチ情報 広島市の防災情報メール登録

広島市防災情報メールに登録しましょう

広島市は、避難勧告等の防災情報を電子メールで配信しています。「受信したい情報」「受信したい地区(小学校区、行政区)」を選択できます。登録メールアドレス(entry@k-bousai.city.hiroshima.jp)へ、空メールを送信後、返信メールが届きますので、その手順に従って登録してください。
※登録無料ですが、別途通信費はかかります。

- 主な配信情報
- 避難に関する情報 ●地震情報・津波情報
 - 気象情報 ●国民保護情報(ミサイル・テロ)
 - 不審者情報、犯罪情報

詳しくは広島市のホームページをご覧ください

緊急情報	必	<ul style="list-style-type: none"> ●避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示) ●避難所情報(指定緊急避難場所、指定避難所) ●広島市に発表された特別警報(大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮) ●広島県に発表された特別警報(大津波警報)
防犯情報	選	広島県警察本部からの不審者や犯罪等に関する情報
気象情報	選	<ul style="list-style-type: none"> ●広島市に発表された気象注意報・警報、土砂災害警戒情報 ●広島県に発表された記録的短時間大雨情報、竜巻注意情報
地震情報や津波情報	選	<ul style="list-style-type: none"> ●広島県南西部で震度3以上を観測した地震情報 ●広島県に発表された津波注意報・警報
河川の洪水予報	選	広島市を流域とする洪水予報河川に発表された洪水予報(はん濫注意情報、はん濫警戒情報など)

主な配信情報(必は必須、選は選択)

5つの政策

私は、5つの政策を打ち出して選挙に臨みました。これは、「4年間の任期で一定の成果を挙げます」と有権者の皆様と約束したことです。このコーナーでは、5つの政策の取り組みや進捗状況をご報告いたします。

1. 子育て支援・人材育成
2. 道路などのインフラ整備を推進
3. 防災・減災
4. 「カラーバリアフリー」の推進
5. 広島市政改革・メディア戦略

10月の(a)決算特別委員会において、第2分科会(文教・厚生関係)で昨年度の決算状況等について質疑させていただきました。**「小学校の適正規模について」**をテーマに選んだ背景や考え、(b)質疑の抜粋を掲載します。

広島市安佐南区などでは近年、(1)特定**の小学校で児童数の増加**に伴う教育環境の悪化が懸念されています。これらの小学校の多くは、学区内で大規模な宅地開発が進み児童数が急増、教室不足に伴う仮設教室(プレハブ校舎等)での学校生活を強いられるたり、グラウンドが狭くなったりするなど支障が生じています。(2)公立学校においては、**教育水準の平準化、平等性が求められます**。住む地域によって、子どもたちに教育環境などに「差が生じることは望ましいことではありません。大規模化が進む小学校の学区ではたいてい、急激な宅地化が進んでいますから、新しい小学校を作ったり近隣に広いグラウンドを確保したりすることは現実的には難しいこととなります。とはいえ、子どもたちは今現在その学校で学んでいるわけですから、現実的に即した懸念解消策が求められています。その点が、今回の質疑(下図参照)にあたっての問題意識の根幹となっています。来年度以降の改善進展に要望として挙げられましたので、引き続き当局に求めていきます。

決算特別委員会

第2分科会(文教・厚生関係)での質疑「小学校の適正規模について」

(1)~(5)はP4のQ&Aで解説しています。

決算特別委員会(質疑抜粋)

むくぎ太一質問

- 平成30年度の学校施設整備の決算では、仮設教室の借り上げに6771万円あまり計上。その状況は?
- (3)教室不足が起こるといのはなぜ分かるのか?
- (4)教室不足への対応の基準は?

広島市側答弁

- 昨年度は祇園、川内、伴小学校など7校で仮設教室を借り上げ、今年度は9校。
- 人口などの推定によって算出している。
- 校舎増設のほか、仮設教室の借り上げ期間が5年以内と推定されれば原則、仮設教室で。

決算特別委員会委員長報告(関係分抜粋)

「児童生徒の良好な教育環境を確保するため、児童数増加により校舎やグラウンドなどが狭隘化している学校については、施設整備による対応のほか、**(5)隣接校で生徒を受け入れるなど柔軟な対応を検討**すること」

×
市議会に設置される特別委員会、例年10月頃開かれます。前年度の決算について、税金の使い方が適正だったかどうかなどを分科会で審査します。

(a)「決算特別委員会」
一問一答の形式で委員(市議)と市当局が課題についてやりとりすることです。

(b)「質疑」



特別委員会で質疑をおこなうむくぎ太一

